

2012年6月11日
公益財団法人イオン環境財団

森を守り、海を守るための植樹活動の3カ年計画がスタート！ 北海道むかわ町にて「イオンの森づくり」を実施いたします

(公財)イオン環境財団(理事長 おかだ たくや 岡田 卓也 イオン(株)名誉会長相談役、以下当財団)は、6月16日(土)に北海道勇払郡むかわ町において「イオンの森づくり」を実施いたしますので、ご案内申し上げます。

むかわ町は、三方を日高山脈系に囲まれ、南北には全国でも屈指の清流度を誇る一級河川鶴川が流れており、その清らかな水は太平洋へ注がれています。森は河川を通し、豊富な栄養分を含んだ水を海へと運び、魚などの生息環境を守るといわれています。こうした森は「魚つきの森」と呼ばれ、山、河川、海の生態系のつながりという観点から森林の機能が再認識されています。

当財団は、本年むかわ町と森林整備協定を提携し、「魚つきの森」を守るため、森林の荒廃が進むエリア7.2haに3カ年計画で約15,000本の植樹いたします。

1年目となる本年は、地域のボランティアの皆さま約550名とともに、地域に自生するトドマツやアカエゾマツ、シラカンバ、ミズナラなど5,000本を植樹いたします。

当財団は、水と緑を守っていく活動として、北海道ではこれまでに、知床や支笏湖で植樹を行っており、本年からはむかわ町での植樹を実施いたします。また、本年、国内では、山形県南陽市、愛知県知多市、長崎県南島原市、三重県紀北町、海外ではインドネシア、ベトナム、中国で植樹活動を実施いたします。

当財団による植樹と地域のお客さまとともに店舗の敷地内に植樹をする「イオン ふるさとの森づくり」を通して植樹した本数は、この度の植樹を含めて971万本になります。

イオンは、生物多様性の保全のため、これからも地域の皆さまとともに木を植え続けてまいります。

【「イオンの森づくり」について】

1. 日 時：6月16日(土) 10:00～11:30
2. 場 所：北海道むかわ町豊城432番地32
3. 植樹本数：5,000本
4. 樹 種：トドマツ、アカエゾマツ、シラカンバ、ミズナラ、アオダモ、ハルニレ
5. 植樹面積：2.5ha
6. 参加人数：約550名
7. 主な出席者：北海道勇払郡むかわ町長 やまぐち けんぞう 山口 憲造 様
北海道胆振総合振興局長 やまだ ひるんど 山田 博人 様
(公財)イオン環境財団理事長 岡田 卓也
8. 主 催：北海道勇払郡むかわ町、(公財)イオン環境財団
9. 協 力：北海道胆振総合振興局、イオン北海道(株)、マックスバリュ北海道(株)

【(公財)イオン環境財団について】

当財団は、平和の追求、人間の尊重、地域への貢献というイオンの基本理念に基づき、1990年に設立されました。当財団は、設立以来、植樹活動や資源の再利用、環境NGO・NPOの支援、国際会議の実施に取り組んでおります。私たちの緑の地球を次世代に引き継ぐため、当財団は、各事業を通じ、こうした活動を継続的に実施いたしますとともに、生物多様性問題に取り組んでまいります。

(公財)イオン環境財団ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>